

少年センターだより

令和元年7月13日
発行
日野町少年センター
日野町河原一丁目1番地
TEL/FAX 0748-53-1325
<http://www.rmc.ne.jp/h.g.s.c>

「子ども達の更生に寄り添って」

更生保護女性会

会長 寺澤 京子

更生保護女性会は、女性のもつ温かさや細やかさを生かして、犯罪や非行を犯した人の更生保護の支援を行うボランティア団体です。全国の約十七万人の会員で成り立っています。日野町は現在八十二名の会員です。

終戦後、親を失った子ども達を自宅に迎えてお世話した事からその運動が広がり、その後、更生保護婦人会を立ち上げ、現在の更生保護女性会に至っています。

日野町では、四十年余り前から淡海学園の子ども達を招き「一日お母さん」を毎年開催しています。今年も六月三日に、グリム冒険の森で終えたところです。カレーランチの後は、職員の方に教えて頂き、木でキーホルダーを作りました。各自が好みの絵を描き、でき上ると満足そうに、私たちが嬉しくなりました。遊具で遊んだり、ゲーム等をして子ども達の歓声で、グリム冒険の森も賑やかでした。わずかな時間ではありましたが、ともに楽しく有意義な時間を過ごしました。

私たちにできる事は、微々たるものでしかありませんが、この子ども達に寄り添いながら少しでも早い更生を願っています。

また少年センターを中心とした朝のあいさつ運動に、二年前から参加させて頂き、中学校正門前で「おはよう」と登校の子ども達に声をかけています。当初は恥ずかしそうに頭を下げる子や、あいさつの声もかすかでした。最近には、こやかに大きな声で、時には、子ども達の方から声が掛かる事もあります。その変化に驚き、また嬉しく地域の見守りの大切さを痛感しました。

その他にも、ミュージックベルで介護施設や保育園へも演奏に寄せて頂き、多くの方とお会いし、和ませて頂いています。私たちは、更生保護の心を伝えるためにも、それぞれの地域で関係団体と連携しながら、見守りや支援活動を行い、少しでもお役に立てる様続けていきたいと思っています。



「グリム冒険の森での一日お母さん」



青少年の非行・被害防止滋賀県強調月間

滋賀県では、7月1日から31日までの間、「地域の力で子どもをまもり、はぐくむ」を重点テーマに、青少年の非行・被害防止滋賀県強調月間が実施されています。重点施策として「インターネット上の非行・被害防止対策の推進」「万引きを抑止する対策の推進」が掲げられ各地で様々な啓発活動が行われています。

日野町では、日野町少年補導委員会を始め各関係機関が協力し、7月5日と12日の2日間、広く町民の皆さんに青少年の非行・被害防止の街頭啓発を行いました。

買い物帰りの方に万引き防止やネットにからむトラブルを防ごうというイラストが描かれたうちわ等を配り、青少年の非行・被害防止を呼びかけました。足を止めてくださった方は「子ども達のいじめ問題等が心配です。みんなが仲良くできる学校や社会になるといいのになと思います。」と話されていました。



子育て小窓

「目玉焼きの黄身」をいつつぶしますか…？ 黄身を最初につぶす人、黄身と白身を分けてからつぶす人、つぶさずに丸ごと口にする人…。ちなみに私は、黄身だけをご飯に乗せ、醤油をかけてからつぶして食べるタイプです。

こんな風に、目玉焼きの黄身をつぶすタイミングひとつとっても、多くの個性が垣間見えます。そもそも、産まれた時から身長や体重、睡眠時間や哺乳力など、みんな違うことを考えると、世の中は個性(違い)に溢れ、成り立っていることに気づかされます。

詩人の金子みすゞさんの「私と小鳥と鈴と」という詩の中に『みんなちがって、みんないい』という一節があります。その詩に触れるたびに私は「個性があるから人は色々な違いに気づくことができ、違いに気づけるからこそ、豊かさが生まれる社会になるのではないか!」と思うのです。

目玉焼きの黄身…はともあれ、その子だけが持つ個性を素敵なもの・貴重なもの・大切なものとして見つけ受け止められることが、大人に求められる「眼」ではないでしょうか。

日野町少年補導委員会

新しい会長が決まりました。

この度、前会長の逝去に伴い、新会長に岡村忠一さん(音羽)、副会長に竹村一男さん(鎌掛)が就任されました。



岡村忠一さん

竹村一男さん

青少年を取り巻くインターネットトラブルとは

事例 1

スマートフォンの使いすぎで、生活リズムが乱れたままに。

スマートフォンでできることは子どもにとって魅力的。

でもスマートフォンが気になるあまり、日常生活に支障が出てしまうことも少なくありません。



事例 2

何気ない言葉で、思わぬトラブルに発展!?

瞬時にやりとりする文字だけの会話では、気持ちが通じず仲間はずれになるなど、大人の目が届きにくいところでトラブルに発展しがちです。



事例 3

ネットに流れた情報は回収が困難!

自撮り画像や、安易な気持ちで送った悪ふざけ画像。

ネットに一度でも流れると、すべてを回収・削除することは事実上、不可能です。



事例 4

ネットだけでは相手の本当の姿は分かりません。

ネットで知り合った人を簡単に信用し、実際に会う約束をして、取り返しのつかない事件や犯罪に巻き込まれてしまった子どももいます。



事例 5

保護者に内緒で課金、物を売買!?

ゲームで高額な課金、オンラインショッピングサイトでの詐欺被害など、お金の係わるトラブルも起きています。

人気のフリマアプリでも、保護者の物を勝手に売る、買い手に個人情報悪用される等の問題が生じています。



このようなトラブルを防止するため今、保護者ができること

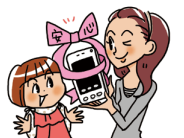


家庭のルールを決めましょう

- ♡インターネットを安全かつ適切に利用するために子どもの能力・発達に見合った利用時間などのルールを家庭で決めましょう。
- 文章の書き方や上手な気持ちの伝え方をアドバイスしましょう。
- 時々、メールのやりとりを見せてもらいましょう。

フィルタリングを上手に活用しましょう

- ♡フィルタリングとは、インターネット上の有害情報を画面に表示させないように制限する機能です。使用者が18歳未満である事を伝えましょう。
- 特定サイトへのアクセス制限ができます。
- 利用時間の制限が可能です。



※内閣府発行リーフレットより

つぶやき

「ゲーム障害」という言葉をご存じですか。世界保健機関（WHO）は2019年5月、オンラインゲームやテレビゲームのやり過ぎで日常生活が困難になる「ゲーム障害」を新たに精神及び行動の障害として、国際疾病に正式に認定されたそうです。

ゲーム障害の特徴は、薬物依存症やギャンブル依存症、アルコール依存症などに共通点があり、治療が必要な病気だそうです。

日頃パトロールをしていると、以前は外にいた子ども達をあまり見かける事がなく、家でゲームやインターネットSNSなどに没頭し、日常生活に支障が出ている中高生もいるのではないかと心配しています。

私達大人はもちろんのこと、子どもたち自身もインターネットに潜む危険について勉強し、家族でネット利用のルールを決める等して「ゲーム障害」という病気になる子どもがいないよう願っています。

日野町少年補導委員 藤澤義晃

一人で悩まないでまず相談を!

- 電話相談 ○面接相談 ○相談時間:月~金9:00~16:30
- 電話 0748-53-1325 E-mail:hino.t-syonen.c@rmc.ne.jp
- 日野町少年センター（日野町勤労福祉会館2階）